



2017

第39期中間報告書

2017.3.1-2017.8.31

株式会社

良品計画

証券コード:7453



株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。ここに当社第39期中間期(平成29年3月1日から平成29年8月31日まで)の報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

当中間期の国内事業は、ヘルス&ビューティやハウスウェアの小物カテゴリーを中心に好調に推移したことに加え、衣服・雑貨についても前年の反省を生かして在庫コントロール力が向上したことにより利益が大きく伸びいたしました。その結果、直営既存店売上高が前年同期比で7.9%の増加となりました。加えて、7月に増床改装した無印良品有楽町では、無印良品で初めてとなる青果売場を設置するなど新しい分野への挑戦も始まっております。また、8月には「完成させないオフィス」をテーマに実施した本社リノベーションにおいて日経ニューオフィス推進賞を受賞いたしました。

海外事業においては、引き続き東アジア事業を中心に堅調に推移いたしました。為替による影響もあり、決算上の利益高は前年値を下回ったものの、為替影響を除けばほぼ計画通りの結果となりました。新規出店も順調で、特に6月に中国・上海において新しい飲食業態「MUJI Diner」、並びに7月にはシンガポール旗艦店「MUJI Plaza Singapura」、8月にはカナダのバンクーバー1号店「MUJI Metrotown」のオープンが大変な話題となり、グローバルでの期待の高まりを感じております。

これらの結果、当中間期のグループ営業収益は1,829億88百万円(前年同期比13.2%増)、経常利益は215億59百万円(同24.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益145億84百万円(同24.5%増)となり、上半期として過去最高益を更新いたしました。

今年度からスタートした中期経営計画の達成に向け、今後も現状に満足せず、課題のひとつひとつを着実に実践し、「感じ良い暮らし」を世界の人々に提供してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも格段のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長 松崎 暁

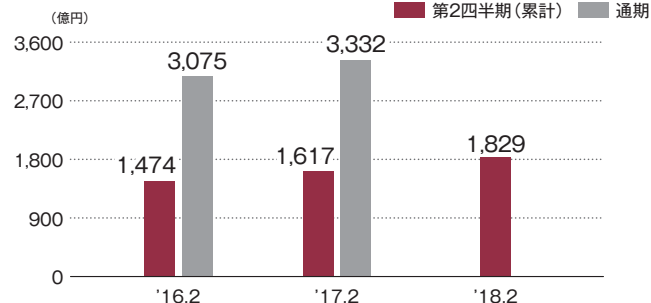
財務ハイライト

営業収益

1,829億円

前年同期比 13.2%増 ↑

▶ 営業収益

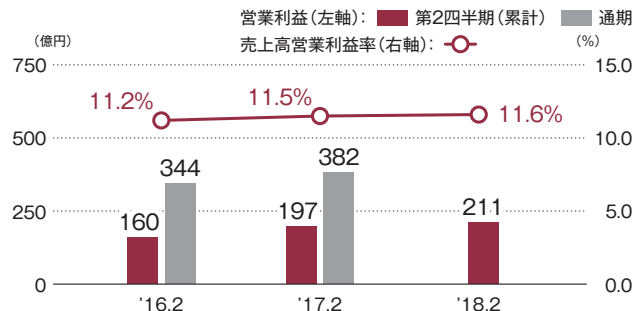


営業利益

211億円

前年同期比 6.9%増 ↑

▶ 営業利益 / 売上高営業利益率

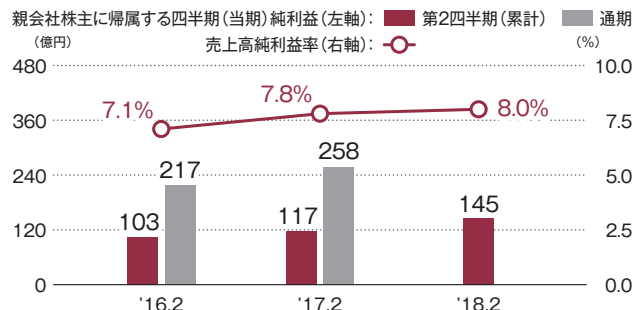


親会社株主に帰属する四半期純利益

145億円

前年同期比 24.5%増 ↑

▶ 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 / 売上高純利益率



セグメント別概況



構成比率

■ 国内事業 64.2%

- ▶ 営業収益
1,174億23百万円 (前年同期比11.0%増)
- ▶ 営業利益
150億6百万円 (前年同期比37.3%増)

衣服・雑貨では紳士ウェアが全般的に好調であったことに加えて、価格見直しを実現した「ハードキャリアシリーズ」の販売が好調でした。生活雑貨では小物の雑貨が好調に推移いたしました。特にスキンケア用品の「マイルドクレンジングシリーズ」や「バランス肌シリーズ」などが好調でした。食品では「カレーシリーズ」に加えて「ごはんにかけるシリーズ」などのレトルトラインが好調に推移いたしました。また新規で発売した「ひとくちウエハース」も順調に売上を伸ばしました。

■ 東アジア事業 27.6%

- ▶ 営業収益
505億94百万円 (前年同期比17.1%増)
- ▶ 営業利益
70億91百万円 (前年同期比23.6%減)

中国においては住空間関連商品の販売を強化したことにより、リビング家具および収納家具などのファニチャーやファブリックスが伸びてまいりました。

一方、前年同期には大幅な円安ピーク時に調達した商品販売が中心となり、大幅に差益率が上昇いたしました。実勢の為替レートによる調達コストの商品販売となったため、前年同期に対して原価率が上昇、セグメント利益を押し下げる結果となりました。為替影響を除けば安定した差益率を維持しております。

■ 欧米事業 4.9%

- ▶ 営業収益
89億45百万円 (前年同期比12.3%増)
- ▶ 営業損失
11億9百万円 (前年同期7億65百万円の損失)

再建策を進める欧州では、前期に不採算店の整理を進めたことに加え、既存店の売上が前年同期を上回る等、回復基調が持続しています。一方、米国においては2店舗の新規出店の影響により開店前コストが嵩み、販管費が増加いたしました。

■ 西南アジア・オセアニア事業 3.3%

- ▶ 営業収益
60億24百万円 (前年同期比26.2%増)
- ▶ 営業損失
1億66百万円 (前年同期52百万円の利益)

シンガポールやタイなど全地域において増収となりましたが、シンガポールにおいては旗艦店開店に向けた在庫が増加したことによる物流費の増加、またタイにおいても開店前コストが嵩み、販管費が増加いたしました。

財務諸表

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当第2四半期 連結累計期間 (2017年8月31日現在)	前連結会計年度 (2017年2月28日現在)
資産の部		
流動資産	133,488	131,435
現金及び預金	39,705	38,555
受取手形及び売掛金	8,503	7,929
棚卸資産	71,906	72,527
未収入金	8,679	8,807
その他	2,579	2,144
貸倒引当金	△46	△49
固定資産	84,636	83,270
有形固定資産	39,125	38,613
無形固定資産	13,955	13,528
投資その他の資産	31,555	31,128
資産合計	218,124	214,705
負債の部		
流動負債	47,227	50,699
固定負債	9,872	6,987
負債合計	57,099	57,686
純資産の部		
株主資本	153,109	147,522
資本金	6,766	6,766
資本剰余金	10,785	10,785
利益剰余金	151,115	140,652
自己株式	△15,557	△10,681
その他の包括利益累計額	3,773	5,507
その他有価証券評価差額金	3,606	3,963
繰延ヘッジ損益	△722	—
為替換算調整勘定	889	1,543
新株予約権	382	344
非支配株主持分	3,758	3,645
純資産合計	161,024	157,018
負債純資産合計	218,124	214,705

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	当第2四半期 連結累計期間 (2017年3月1日から 2017年8月31日まで)	前第2四半期 連結累計期間 (2016年3月1日から 2016年8月31日まで)
売上高	182,601	161,353
売上原価	91,417	80,619
売上総利益	91,183	80,734
営業収入	387	363
営業総利益	91,570	81,098
販売費及び一般管理費	70,440	61,339
営業利益	21,130	19,758
営業外収益	562	514
営業外費用	133	2,879
経常利益	21,559	17,393
特別利益	16	0
特別損失	97	178
税金等調整前四半期純利益	21,478	17,215
法人税等	6,882	5,582
四半期純利益	14,595	11,632
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	11	△82
親会社株主に帰属する四半期純利益	14,584	11,715

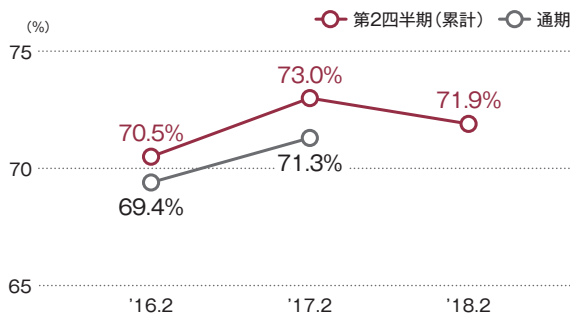
連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

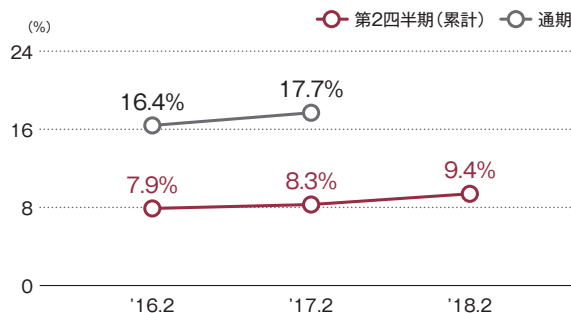
科目	当第2四半期 連結累計期間 (2017年3月1日から 2017年8月31日まで)	前第2四半期 連結累計期間 (2016年3月1日から 2016年8月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	18,633	9,512
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,102	△7,450
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10,192	△9,047
現金及び現金同等物に係る換算差額	△495	△3,371
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	843	△10,357
現金及び現金同等物の期首残高	35,388	41,050
現金及び現金同等物の四半期末残高	36,231	30,693

主要経営指標

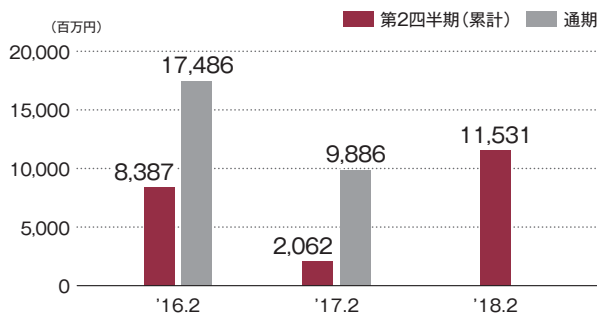
▶ 自己資本比率



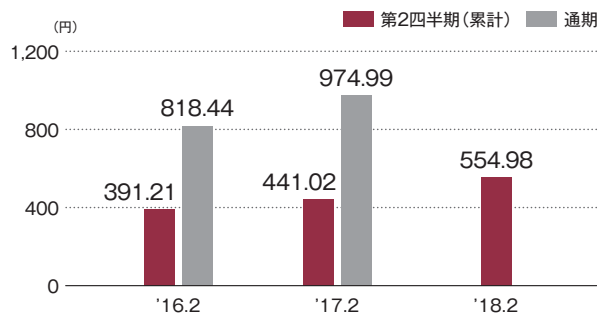
▶ 自己資本四半期(当期)純利益率(ROE)



▶ フリーキャッシュ・フロー



▶ 1株当たり四半期(当期)純利益



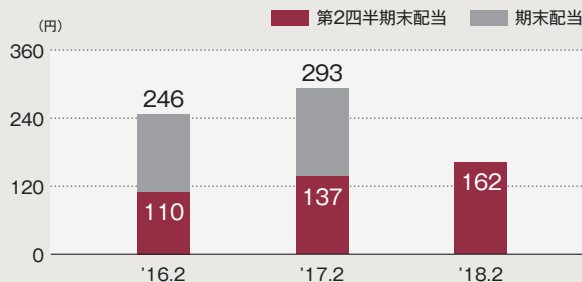
株主還元について

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題の一つとして位置づけており、1株当たり利益を向上させることが、責務であると認識しております。

利益配当金につきましては、連結の業績に基づいた配当とし、配当性向につきましては30%(年間)を基準にしております。

この方針のもと、今期中間配当金は162円とさせていただきます。

▶ 1株当たり配当金



シンガポール旗艦店「MUJI Plaza Singapura」オープン

7月21日(金)、シンガポール中心地にある大型ショッピングモール、プラザシンガプーラ内に、「MUJI Plaza Singapura」がオープンしました。西南アジア・オセアニア地域の旗艦店となるこの店舗は、売場面積約1,640㎡とアセアン地域最大を誇るとともに、日本国内での展開店舗数と海外の店舗数とが逆転する記念すべき店舗となりました。

広い店内には「Café&Meal MUJI Plaza Singapura」も展開。2015年にオープンしたシンガポール1号店Café&Meal MUJI PARAGON、翌年のCafé&Meal MUJI Raffles Cityに続き3店舗目となります。他店と同様のデリメニューに加え、店舗限定メニューや持ち帰り専用のおにぎりとデリのセットを提供し、大好評をいただいています。また、シンガポールで初の品揃えとなる「MUJI Labo」や「Found MUJI」、「IDÉE」などの商品群や、お客様とのコミュニケーションスペース「Open MUJI」を導入。オープンに合わせて「Open MUJI」スペースで開催した「Found MUJI」展や店外の「What is MUJI?」展もたくさんのお客様で賑わい、現地での注目度の高さを実感できる店舗となりました。

今後もアセアンや、未展開地域への情報発信拠点としての役割を担う店舗として、引き続き進化を続けてまいります。



「無印良品の小屋」シラハマ校舎での販売開始

「無印良品の小屋」は、2015年10月に東京ミッドタウンで開催された「Tokyo Midtown DESIGN TOUCH 2015」において「MUJI HUT」として3種のプロトタイプを発表し、世界中から大きな注目をうけました。そこで得た知見やお客様の声を基に、「無印良品の小屋」の開発を進め、完成に至りました。

この「無印良品の小屋」は、千葉県南房総市白浜町の旧長尾幼稚園・小学校の施設を活用して誕生した「シラハマ校舎」の旧校庭部分を、菜園付き小屋の用地として区画し、その区画を賃借する方を対象に2017年4月より販売しています。白浜町は、海、山の自然に囲まれ電車も通っていない、いわゆる「陸の孤島」ながら、東京から車で2時間ほどで通える、都会との距離が急速に縮まりつつある地域。「シラハマ校舎」は、旧校舎をゲストルームやシャワールーム、カフェにリノベーションし、幅広い世代や職種の人々が農的ライフスタイルやスポーツアクティビティを楽しむことのできる複合施設です。

「無印良品の小屋」の特長としては、「小さくて広い」こと。部屋の中はおおよそ9㎡とコンパクトですが、縁側や奥に向かって屋根の傾斜をつけることで、3~4人でも十分にくつろげる広さがあります。入口の大きな窓は、もともとは商店に使われている引き戸を用い、もうひとつの小さな窓からは光や風が訪れます。また、木材は100%国産を用い、外壁は造船業で古くから使われてきた杉材を焼いて強度を高める「焼杉」の手法に加え、オイルステインで仕上げることで、防腐蚀性、耐久性を高めました。内装は好みの壁をつくることもできるよう、無塗装のまま仕上げています。床面はモルタルそのままで仕上げ、汚れやすい環境下でも土間のように気兼ねなく使えるとともに、凹凸がないので掃除も簡単です。

今秋には個人の方向けに販売を開始する予定です。このシラハマ校舎を皮切りに、無印良品の考える「小屋のある暮らし」を広く提案していきます。



「無印良品の小屋」ホームページ <https://www.muji.com/jp/mujihut/>

シラハマ校舎ホームページ <http://www.awashirahama.com/nagao/mujihut/>

「無印良品有楽町」1階増床リニューアルオープン

2001年のオープン以来、世界最大の旗艦店として国内外のお客様からご好評いただいている「無印良品有楽町」が、7月28日(金)、1階の売場面積を拡大して増床リニューアルオープンしました。増床部分には、無印良品で初となる青果売場を導入。基本食材である野菜や果物、グロサリーを展開しています。野菜は、生産者・生産団体が主に化学合成農薬と化学肥料を使用しない、もしくは減農薬にて栽培したものを直接仕入れる、産直販売です。種類は多くありませんが、旬のものを中心に品揃えし、東京の伝統野菜などわけのある珍しい野菜も取扱います。合わせて旬の果物や、野菜に良く合う調味料、野菜中心のお菓子など、選りすぐりのグロサリー約300アイテムも展開。お客様が生産者や生産現場に思いをはせ、食べ物と人間の関係を再度見つめなおすきっかけとなることを目指します。

さらに、「無印良品の小屋」を、たくさんの方々に実際にご覧いただけるように実物モデルを設置。無印良品のインテリアアドバイザーが、お客様からの小屋に関するさまざまな問い合わせに対応します。

今後も、世界旗艦店としてさまざまな取り組みを行う無印良品有楽町にご注目ください。



会社概要

会 社 名	株式会社良品計画 (RYOHIN KEIKAKU CO.,LTD.)
所 在 地	〒170-8424 東京都豊島区東池袋四丁目26番3号
電 話	03-3989-4403 (総務人事担当)
設 立	1989年6月(登記上 1979年5月) ※額面変更のため合併を行っております。
資 本 金	67億6,625万円
決 算 日	2月末日
年 商	3,332億円 (2017年2月期良品計画グループ営業収益)
従 業 員 数	7,486名 (パートタイム社員5,644名を含む)
国内店舗数	直営店 334店舗、商品供給店 86店舗、Café&Meal MUJI 26店舗、IDÉE 9店舗
海外店舗数	イギリス 12店舗/フランス 8店舗/イタリア 9店舗/ドイツ 7店舗/アイルランド 1店舗/スウェーデン 8店舗/ スペイン 6店舗/ポーランド 1店舗/ポルトガル 1店舗/米国 14店舗/カナダ 3店舗/香港 17店舗/ シンガポール 10店舗/マレーシア 7店舗/韓国 23店舗/中国 210店舗/台湾 43店舗/タイ 15店舗/インド 3店舗/ オーストラリア 3店舗/インドネシア 8店舗/フィリピン 4店舗/クウェート 2店舗/UAE 4店舗/サウジアラビア 1店舗/ バーレーン 1店舗/カタール 1店舗/Café&Meal MUJI 16店舗 合計 422店舗
主 な 事 業	「無印良品」を中心とした専門店事業の運営/商品企画/開発/製造/卸しおよび販売
ホームページ	企業情報ページ http://ryohin-keikaku.jp/

役 員

代表取締役会長 (兼)執行役員	金井 政明	社外取締役	遠藤 功	執行役員	大木 宏人	執行役員	矢島 岐
代表取締役社長 (兼)執行役員	松崎 暁	社外取締役	伊藤 俊明	執行役員	亀谷 哲夫	執行役員	孔 慧蘭
取締役 (兼)執行役員	鈴木 啓	社外取締役	柳生 昌良	執行役員	萩原 由美子	執行役員	山本 直幸
取締役 (兼)執行役員	岡崎 令	社内監査役	楨田 隆史	執行役員	齋藤 陽司	執行役員	門池 直樹
取締役 (兼)執行役員	山本 祐樹	社外監査役	服部 勝	執行役員	齊藤 正一	執行役員	永原 拓生
取締役 (兼)執行役員	清水 智	社外監査役	原 邦明	執行役員	武内 健治	執行役員	梁 益嘉
		社外監査役	井上 雄二				

会計監査人

有限責任 あずさ監査法人：東京都新宿区津久戸町1番2号 あずさセンタービル

株 式 情 報

(2017年8月31日現在)

株式の状況

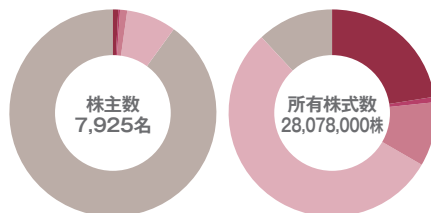
発行可能株式総数	112,312,000株
発行済株式の総数	28,078,000株
株 主 数	7,925名

大株主

株 主 名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
JP MORGAN CHASE BANK 380055 (standing proxy:みずほ銀行)	1,995	7.11
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 信託口	1,453	5.18
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 信託口	1,277	4.55
三菱商事株式会社	1,078	3.84
GIC PRIVATE LIMITED-C (standing proxy:三菱東京UFJ銀行)	770	2.74
THE BANK OF NEW YORK MELLON AS DEPOSITARY BANK FOR DR HOLDERS (standing proxy:三菱東京UFJ銀行)	695	2.48
株式会社クレディセゾン	631	2.25
JP MORGAN CHASE BANK 385632 (standing proxy:みずほ銀行)	578	2.06
株式会社ファミリーマート	561	2.00
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 信託口9	558	1.99

(注)自己株式1,852,966株は含んでおりません。

株主分布状況



■ 金融機関	68名	6,325,700株
■ 証券会社	29名	293,750株
■ その他の法人	88名	2,805,278株
■ 外国法人・外国人	610名	15,366,632株
■ 個人その他*	7,130名	3,286,640株

*「個人その他」には自己株式1名1,852,966株を含んでおります。

株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月開催
基準日	定時株主総会 毎年2月末日 期末配当金 毎年2月末日 中間配当金 毎年8月31日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して 定めた日
株主名簿管理人 および特別口座 の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-782-031 (9:00~17:00 土・日・祝日を除く)
(インターネット ホームページURL)	http://www.smtb.jp/personal/agency/

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。証券会社の口座をご利用でない株主様は、上記電話照会先までご連絡ください。

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

公告方法	当社のホームページに掲載する。 http://ryohin-keikaku.jp/ ※やむを得ない事由により、電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。
上場証券取引所	東京証券取引所
証券コード	7453
単元株式数	100株